

研修・活動を実践につなぐ

第1回拡大事務局会（5/17）では、今年度取り組む事、来年度へ向け検討していく事等を協議しました。

○今年度、重点的に取り組む事は、まず、研修活動を1年間つなげることです（研修の視点や授業参観の視点）。6月17日の先進校視察を皮切りに、この一年間の研修会や行事等を別々のものではなく、次の研究会、研修会、行事へつなげ、来年度へつなげるものにしていきましょう。

先進校視察（6/17）→合同研修①（6/22）
→合同研修会②（八幡小）（7/14）→
合同研修会③（8/9）→合同クリーン活動（9/13）
→合同研修会④（吉舎中・安田小研究公開
10/12）→小中一貫全国サミット（10/21・22）
→第2回さき音楽祭（11/9）→
合同研修会⑤（吉舎小）（2/16）
→年間のまとめ（2月）

○先進校視察後の6月22日（水）合同研修会では、1時間と短い時間ですが、「先進校視察を終え、実践に生かせること」を協議の柱として部会をもちます。個人で視察でのまとめをして臨みましょう。

○「のぼり旗」を作成し今後の小中の行事等で使用します。横断幕（既に設置済）の意味を地域へしっかりPRしましょう。

○小中学校教職員の交流をしっかりと行い、吉舎中学校区の教職員としてお互いをよく知りましょう。

○来年度の検討課題

・全校で家庭訪問の日程を4月下旬くらいで揃える。

・PTA教育講演会を、中学校区合同で開催する。



6.17 先進校視察の視点

No8号でお知らせした通り、「視察の視点」を、各部長が検討し次のとおり決定しました。6月22日に部会で協議します。

◎ 視察の重点—「自学力」の育成に向け、この授業で「どのような力を育てたいのか（何ができるようにさせたいのか）」指導目標（ねらい）を明確にし、そのために、どのような工夫（指導内容・方法）をしているかを見ていきましょう！

【学力向上部】

・課題解決型の授業づくり

①課題発見一問いのもたせ方

②集団解決—語るための発問・手立て
③集団解決の終末で、焦点化し価値付けるための手法

④振返りのさせ方

【生徒指導部】

①生徒指導の三機能を生かした授業づくり（自己決定の場・自己存在感・共感的人間関係づくり）

②礼節（挨拶・返事・履物揃え等）

○当日（6月17日）の日程

・ 7:30 吉舎保健センター 出発
（時間厳守でお願いします）

・ 10:00 坂出中学校 到着
授業参観（小学校は坂出小学校）・研究協議・講演

・ 17:00 坂出中学校 出発

・ 19:30 吉舎保健センター 到着

*小中学校の教職員全員が参加します。行き帰りのバスの移動時間が片道2時間30分あります。ここで小中の先生方で交流し、お互いを知り合う場とできるように企画したいと思いますので、協力をお願いします。

*当日は、「ネクタイ着用」をお願いします。